

七人の神様

屋敷小学校 三年 ひろ川 な子

私にとってお米は、パワーをあたえてくれる食べ物です。朝ごはんは、おにぎりを食べると一日ががんばろうという気持ちになります。習い事のスイミングで泳ぐ前におにぎりを食べるのと、おかしやパンよりも力がでます。かぜをひいた時、体調がよくなってきたと、まずはおにぎりを食べたくります。どうしてお米を食べるとパワーが出るのでしょうか。

たんにんの先生が「お米一つぶの中に七人の神様がいるから、のこさず食べましょう」と教えてくれました。七人の神様について、調べました。七人の神様とは太陽、雲、風、水、土、虫、作り手でした。七人の神様が一人でも足りないとおいしいお米ができません。七人の神様とは、しぜんのめぐみです。しぜんのめぐみとは、しぜんがあたえてくれることです。しぜんとは、天と地にあるものの全てです。お米をのこさないように食べようと思います。

いました。

私の子どもが生まれた時、もしもお米がなかつたらかわいそうです。調べる前は、ゆたかなしぜんがあることがふつうだと思っていました。しかし、当り前ではないと思いました。た。おいしいお米が食べられるのは、七人の神様が元気にしぜんを見守ってくれるからです。七人の神様が元気でいるためにゆたかなしぜんをまもっていきける方ほうを調べていこうと思います。

今、私にできることはしぜんのめぐみを大切にすることです。お米一つぶのこさず大切に食べて、しぜんのめぐみを味わって、元気い。ぱいに生きていこうと思いました。